

コロナ回復者の多くが腎臓にダメージ、症状なくても一米 大規模調査

9/2 10:23 配信

Bloomberg



Photographer: Angus Mordant/Bloomberg

(ブルームバーグ)：新型コロナウイルス感染症(COVID19)から回復した人の多くが、痛みや症状はなくても腎臓にダメージを受けていることが大規模調査で分かった。米腎臓学会誌に1日掲載された調査結果によると、腎臓のダメージはCOVID19の重症度に応じて大きくなり、腎臓の基礎疾患がなく入院せずにコロナから回復した人でも末期腎臓病に至るリスクはコロナ未感染者の約2倍だという。

同調査のデータは軽・中等症のコロナ患者1万人当たり7.8人が透析ないし移植が必要になることを示している。

米ミズーリ州の退役軍人セントルイス医療制度の臨床疫学センター所長で、同調査を主導したジャド・アルアリ氏は「母数となる世界や米国の感染者が極めて多いことから、少なくない数の人が末期腎臓病に至る可能性がある」と指摘した。

原題:Painless, Silent Organ Damage Seen in Large ‘Long Hauler’ Study(抜粋)

(c)2021 Bloomberg L.P.

Bloomberg